

平成30年度
第13号

生駒学園だより

発行日：平成31年3月25日
〒579-8014 東大阪市中石切町 2-5-5
児童養護施設 生駒学園
TEL072-981-1005 FAX072-981-1029
HP：www.ikoma-gakuen.com

施設長 竹田 功

3月を迎えると「卒業」という言葉の響きに複雑な思いで一杯になります。「成長したなあ」「立派になったなあ」と思う反面、子どもたちの今後の行き先に不安を抱えながら送り出す気持ちが互いに交錯するからです。当施設では第二の故郷・心の拠り所となるような施設作りを理念の一つに掲げていますので、毎年1月には睦会という退園生が集う会を開催し、子どもたちとの関係性を継続しています。大阪では同じ職種での就労が10年以上継続していると、栄えある表彰を受賞する事が出来ます。睦会においては、その後の子どもたちの情報交換が可能となり、この8年間は毎年受賞の名誉を頂き、30年間で総計36人に及んでいます。社会人として幾多の困難を乗り越えて来た彼たち・彼女たちを、私たちはとても頼もしく感じています。今後もこの「繋がり」を大切に、巣立って行く子どもたちに対するアフターケアの充実を図りたいと考えています。

里親活動（活動と現状）

里親制度をご存知でしょうか？里親には養子里親だけでなく、養育里親（大阪府ではぐくみホーム）、週末里親などの種類があります。養子里親は養子縁組を行い、親子として生活することになります。養育里親は家庭に帰ることが難しい、家庭体験の乏しい児童が里親宅で一定期間育てていただくというものになります。週末里親は施設で生活している子供を週末や夏休みなどの長期休暇を利用し、家庭での体験をさせていただくものとなります。小学校1校区に1人の里親さんがいれば、子どもたちは住み慣れた地域を離れることなく、仲の良かった友達と別れず、転校することなく生まれ育った街で過ごすことができます。幼少期の子どもにとって大人との関わりが子どもの成長には大切なものとなります。現在、生駒学園では3組の4人の子どもが週末里親さんにお世話になっています。子どもたちの成長を地域で支え、手を差し伸べてみませんか？

寄付寄贈一覧（順不同）

合川 美知代	及川 重雄	菊岡 るり子	堯 孝純	中村 浩	藤本 政潔	マリヤ会	和久田 忍	㈱枚岡電化 代表取締役 上野 泰敬
赤坂 良子	大和田 育子	岸野 敏男	高河原 多恵子	中村 芳江	フジモリ モトヒロ	まるよし家具	㈱大西衣料	大阪市立 汎愛高校 手芸部
有村 俊一	岡崎 淳司	北中 廣興	高木 満代	西岡 節子	古川 キヨミ	三尾 孝子	和田 明子	河の中北組佛教婦人会連盟
伊豆 美保	岡田 綾子	北橋 幸和	タカセ マサヨシ	西吟寺	法照寺 寺田 完英	美野 悦子	㈱ゼニア 北川 達也	近藤化学工業㈱ 近藤 力
伊藤 清子	岡村 悦子	教専寺	竹中 正巳	ニシザキ イサオ	堀田 光朗	安田 龍郎	㈱日研工作所	オーエッチ工業㈱ 代表取締役 清水 義道
岩倉印刷紙業㈱	岡本 照子	楠林 慎爾	田中 美智子	西田 芳弘	堀 順子	山口 保代	スナダ建設 砂田 直成	久保板金塗装工業㈱ 代表取締役 久保 勝美
岩崎 隆洋	小川 澄子	久保 進一	田中 利親	西村 明子	堀口 実	山下 佳世子	住友生命保険相互会社	芝野有限会社 代表取締役 芝野 桂太郎
岩永 恵子	奥田 ヨシノ	小林 知子	田村 精造	日栄化工	堀部 富子	山下 チヅ子	ダイワ金属株式会社	日比忠 ㈱ 代表取締役社長 日比 敬史
植田 哲二	奥林 弘行	小森 清道	中間物商事㈱	橋本 剛	前田 勇	山森 広式	谷内自動車整備工場	プレス精工㈱ 代表取締役 中川 澄郎
上田 博司	尾立 純子	小山鋼材㈱	塚本 和子	畑上 晴江	政とみ	矢本 陽子	日本電動特許㈱	宮川化成工業㈱ 会長 宮川征四郎
上野 喬	鹿島 浩子	佐川急便株式会社	出口 文子	原田 安子	松井 大照	吉川 智	東大阪不動産販売㈱	(有)ケイテック 代表取締役 國武 一郎
梅本 紀子	柏原塗装工業㈱	澤 美知子	寺嶋 正子	東口 広子	松下 彬子	吉田 経子	(有)西沢保険オフィス	㈱池崎鉄工所 代表取締役社長 池崎 昇
エース㈱	堅田 久義	芝高 康造	徳見 朋子	東山 満行	松葉 善治	吉田 忠義	㈱エステートアイ 岩崎 嘉徳	(有)スキル 宮本 隆良
エスペランサ	河島 康子	人生道場	徳山 性七	日阪製作所	松村 美代子	㈱万代	㈱マルニシ産業 西川 顕世	東大阪楠ライオンズクラブ
恵比須 悦子	川村 千枝子	杉嶋 三恵子	富岡 和子	深谷 和子	松本 錦三	吉村 精仁	Joyful 喜一ホールディングス㈱	㈱フーズワン 木村 康浩
遠藤 郁子	河村 やよい	住井 英次	仲村 秀子	藤田 竜一	眞鍋 恵子	吉村 達俊	大阪東南ロータリークラブ	

坂本博之さんとのボクシングセッション。平成のK.Oキングと呼ばれ、自身も児童養護施設生活の経験がある。子どもたちへ夢を与えるため、全国を周られています。



㈱テイエム技建 東大阪に会社を構えるマンションの大規模修繕工事専門会社様によるBBQ招待。地域の方の支えにより子どもたちは育っています。



園内行事 キャンプや自治会など、年間通して様々な行事を行っており、子どもたちの体験を通した育成を行っています。



防災対応 昨年は地震や台風と自然災害に見舞われる日が続いておりました。当園では災害に備え、日々避難訓練や職員の災害対応を行い、子どもたちの支援に努めています。



NPO法人エスペランサによるフットサル大会 日頃から施設へサポートを行っていただいている団体。子どもたちは一生懸命戦いました。



日阪製作所 潮干狩り招待行事 毎年6月に施設の小学生を中心に招待していただき、子どもたちはもくもくと貝探しをしています。



睦会 (むつみかい) は卒園生・退職職員が年に1度集まる行事で、例年40名ほど集まり、現況報告や在園時代の話をし繋がり強めています。



「苦情申し出窓口」の設置について

社会福祉法第 82 条の規定により、本法人では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えることといたしました。本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めることと致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 苦情解決責任者 竹田 功 (生駒学園 園長)
2. 苦情受付担当者 小田 秀治 (主任児童指導員) 濱岡 京子 (主任保育士)
3. 第三者委員 山内 稔 (元大阪国際大学短期大学部 教授)
石田 肇 (生駒学院 評議員)
家常 恵 (生駒学院 監事)
4. 苦情解決の方法
 - (1) 苦情の受付
苦情は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。
なお、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。
 - (2) 苦情受け付けの報告・確認
苦情受付担当者が受け付けた苦情を苦情解決責任者と第三者委員（苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合を除く）に報告いたします。第三者委員は内容を確認し、苦情申出人に対して、報告を受けた旨を通知します。
 - (3) 苦情解決のための話し合い
苦情解決責任者は、苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。その際、苦情申出人は、第三者委員の立会いを求めることができます。なお、第三者委員の立会いによる話し合いは、次により行います。
 - ア. 第三者委員による苦情内容の確認
 - イ. 第三者委員による解決案の調整、助言
 - ウ. 話し合いの結果や改善事項等の確認
 - (4) 大阪府の「運営適正化委員会」の紹介
本事業所で解決できない苦情は、大阪府社会福祉協議会に設置された運営適正化委員会に申し出ることができます。

平成 30 年度 福祉サービス苦情解決における状況

- ◇苦情・意見等の受付件数 10 件
- ◇表明児童内訳
小学生 男児 2 件 小学生 女児 3 件
中学生 男児 2 件 中学生 女児 2 件
小中学生女児 1 件
- ◇表明内容
 - ・他児とのトラブル
 - ・年下児童へのいら立ち
 - ・先生に優しくされたい、楽しくしたい
 - ・他児にいじめられている
 - ・先生が最近冷たい
 - ・また話がしたい
 - ・スマホを持ちたい
 - ・職員の不適切な言葉がけ
 - ・行事に対する要望
- ◇保護者からの意見・要望
 - ・子どもがケガをしてしまったことについて
 - ・携帯電話の使用、取り扱いについて
- ◇対応
 - ・スマホや行事などの要望も出るようになっている
 - ・いずれの事案も、個別対応し、最終確認を行っている
但し無記名もあり、投書箱設置階のホーム全体に返すことも行っている。
 - ・保護者からの苦情表明についても、納得頂けるよう対応を行った



新年度事業経過報告

生駒学園では平成 30 年 4 月より本体施設のほかに地域小規模児童養護施設「ひまわり」を開設いたしました。より地域に根差した環境の中で、家庭に近い雰囲気を感じながら子供たちは日々の生活を送っています。約 1 年が経過し職員、児童共に生活環境に落ち着きが見られてきました。開設当初はどのように生活していけばいいのか、家庭に近づくとはいえ施設でもあるため、戸惑いがありました。職員は子供たちとの関りが密になることで今まで見えてこなかった行動や言動の表出に気づき、より一層の支援を行うことができるようになりました。

ご寄付による園行事実施報告



個人の方より「施設で生活する子供達の思い出になるために」とご寄付をいただきました。施設全体行事として、総勢 140 名の職員、児童でナガシマスパーランドへ行かせていただき、子どもたちも大喜びの行事となりました。

勤労感謝清掃奉仕活動

毎年 11 月 23 日の勤労感謝の日に生駒学園の取り組みとして、日頃お世話になっている地域へ感謝の気持ちを込めて清掃活動を行っています。石切神社・中石切公園・なかよし公園・音川の清掃をしています。



感謝報恩

(編集後記)

生駒学園だより第13号
いかがでしたでしょうか。
生駒学園は地域の方々のご理解により成り立ち、様々な企業・個人の皆様の寄付寄贈により支えられています。
感謝報恩の気持ちを胸に、これからも地域に根付いた施設運営を目指して参ります。
皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

児童指導員 辻本



NHK歳末たすけあい配分金事業
NHK歳末たすけあいにより、配分金が決定されました。
NHK歳末たすけあいにご協力いただいた住民・寄付者のみなさまに感謝いたします。
配分金は、新入学児通学、自転車及び学用品購入の事業に有効適正に活用いたします。